

※注意：このシートは横浜市のホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）①

|   |   |  |             |   |
|---|---|--|-------------|---|
| フリガナ  | オクイ トシユキ  |  |             |          |
| 氏名  | 奥井 利幸   |  |             |   |
| 派遣希望区   | <input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> (    区)   |  |             |   |
| 支援専門分野（注1）  |   | 支援専門分野の内容  |             |   |
| ルール又はプランづくり等  | 建築協定 地区計画 地域まちづくりルール<br>地域まちづくりプラン 景観協定 景観計画<br>まち普請事業 その他 (    )   |  |             |   |
| 市街地開発事業等  | 再開発 区画整理  |  |             |   |
| 防災まちづくり等  | <input type="radio"/>   | まちの不燃化推進事業 共同建替え <input type="checkbox"/> 防災マップづくり<br><input type="checkbox"/> 耐震改修 <input type="checkbox"/> 狭あい道路整備 <input type="checkbox"/> 防災広場整備 |             |   |
| その他関心のあるテーマ   | <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 防犯    商店街活性化 <input type="checkbox"/> 水・緑 <input type="checkbox"/> 歴史    文化    アート    地域交通 <input type="checkbox"/> 福祉<br><input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> その他（多文化共生の街づくり） |  |             |   |
| ※得意とする支援の内容・関心のあるテーマを丸印で囲んでください（複数回答可）。該当するものが無い場合は、その他の欄に記入してください。 |   |  |             |   |
| 所属するまちづくり支援団体   | <input type="radio"/> 横浜プランナーズネットワーク  |  |             |   |
| ※横浜市に登録されたまちづくり支援団体に所属している場合は、団体名を記入してください。                         |   |  |             |   |
| 支援専門分野に関する支援の実績等  | 支援専門分野の内容・支援可能なテーマ  | 地区名  | 時期          | 支援内容等<br>※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。   |
|   | 農業外活動によるコミュニティ活性化   | 海外（タイ）   | 1996年～1999年 | タイの中部、北部、東北部の農村で、農業外収入源開拓を通じた地域の活性化の支援を行う。具体的には、婦人グループなどのグループ組織化支援、民芸品や特産品などの開発、販売体制構築支援など。 |
|   | 里山作り・環境づくりを通じたコミュニティ活性化   | 海外（タイ）   | 1999年～2002年 | タイの東北地方の農村で、里山づくりを通じた環境の向上と地域の活性化の支援を行う。具体的にはボランティアグループ組織化支援や植林、育林活動促進や里山の活用支援など。           |

（注1）支援分野は、横浜市まちづくりコーディネーター等の登録等に関する要綱の別表第1を参照してください。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

|                  |                  |               |                 |   |
|------------------|------------------|---------------|-----------------|---|
| 支援専門分野に関する支援の実績等 | 障害者に優しいコミュニティ作り  | 海外<br>(アジア各国) | 2002年<br>～2007年 | アジア太平洋各国で、障害当事者の主体的参加（エンパワメント）による単なる「物理的なバリアフリー化」だけでなく、社会参加のさまざまなバリアの軽減された街づくり支援。   |
|                  | 高齢者に優しいコミュニティづくり | 海外<br>(タイ)    | 2007年<br>～2011年 | タイの中部、北部、東北部、南部で、高齢者の住みよいコミュニティ作り支援。<br>具体的には、住民と、自治体、保健所、福祉事務所を結びつけ、高齢者支援に関する様々な活動の実施と制度化の実施。  |
|                  | 弱者にやさしいコミュニティ作り  | 海外<br>(ミャンマー) | 2014年<br>～2016年 | ミャンマーで、貧困・無教育などの原因により強制労働や性的搾取の被害を受けた人が、住みよい社会になるための地域体制づくりを実施。<br>具体的には、地域政府組織や婦人団体、警察などが連携してコミュニティの弱者支援・保護能力向上を図る。  |
|                  | コミュニティスペース企画運営   | 西区            | 2016年<br>～現在実施中 | 西区において、「誰もが弱者的要素を持つ」をコンセプトとして、弱者が「第2，第3の選択肢として」多世代共生、多文化共生の場づくりを実践中。<br>また、相互の学び合いとして、日本の他のコミュニティだけでなく、大学や海外のコミュニティと直接の学び合いも実施中。<br>自治会役員や街づくり協議会委員、社会福祉協議会ボランティア運営委員も行う。 |

まちづくりに関するPR

国際協力事業団（JICA）専門家として、タイ・ミャンマーなどアジアの途上国で長くコミュニティ作り、弱者支援を行ってきました。2016年に日本に帰国したあと、独立してソーシャルビジネスコンサルタントや開発評価コンサルタントを行いながら、西区でコミュニティスペースを設立活動や、地域での活動を行っています。

日本でコミュニティづくりをはじめようと思ったきっかけは、

**「海外のコミュニティ作りと日本のコミュニティ作りが、案外共通点が多いのではないかな」**

と思ったのですが、実際に日本で活動を開始して、当初考えた以上に似ていると感じています。

日本のコミュニティでの活動には様々な法律や制度の知識が必要です。でも、法律や制度からはいってしまおうと新たなアイデア、柔軟なアイデアがでにくくなる危惧もあります。途上国から学べるのはまさにその点です。まずは、ゼロベースでアイデアを出し合い、そのうえで法律や制度にどう合致するのか、との視点で防災の街づくりをしていきたいと思います。よろしくお願ひします。